

第2回JR川越線利便性向上推進協議会概要

－開催概要－

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 日 時 | 令和5年10月25日（水曜日） 13:30～14:30 |
| 2 | 場 所 | WEB会議 |
| 3 | 出席者 | 別添のとおり |
| 4 | 議 事 | (1) JR川越線の利用者増加に資するさいたま市の取組について
(2) JR川越線の利用促進に資する川越市の取組について
(3) 川越線のご利用状況の推移と羽田空港アクセス線（仮称）の状況について
(4) その他 |
| 5 | 配布資料 | ・ 次第
・ 名簿
・ 資料1 JR川越線の利用者増加に資するさいたま市の取組について
・ 資料2 JR川越線の利用促進に資する川越市の取組について
・ 資料3 川越線のご利用状況の推移と羽田空港アクセス線（仮称）の状況について |

－議事概要－

- ・ 議事(1) JR川越線の利用者増加に資するさいたま市の取組について、さいたま市から、資料1により説明があった。
- ・ 川越市から、西大宮駅周辺の土地区画整理事業によって、どのくらい人口が増加したのかについて質問があった。さいたま市からは、平成30年度当初から令和5年度当初までの5年間で、西大宮駅の北側の地区では約2.4倍、南側の地区では1.4倍増加しているとの回答があった。
- ・ JR東日本大宮支社から、西大宮駅周辺の今後の定住人口の見込みについて質問があった。さいたま市からは、現在の定住人口は計画人口の約75%であり、今後も定住人口が増加する見込みであるとの回答があった。

- ・ 県から、県民生活部でおこなっている、無形民俗文化財の伝統芸能に対する助成金などを活用いただき、地域の発展に取り組んでいきたいとの発言があった。
- ・ 議事(2) J R川越線の利用促進に資する川越市の取組について、川越市から、資料2により説明があった。
- ・ さいたま市から、自転車シェアリング事業の今後の展開についての質問があった。川越市からは、本年9月1日に現運営事業者と、「川越市内で実施するシェアサイクル事業に関する基本協定書」を締結し、近隣自治体同様の料金体系で実施していくとの回答があった。
- ・ 県から、自転車活用推進計画に基づいて、「サイクルツーリズムの推進による観光立県埼玉の実現」に取り組んでおり、連携を図っていきたいとの発言があった。
- ・ 議長から、本日紹介いただいた取組については、自治体間で連携を図りながら取り組みを進めていくとの発言があった。
- ・ 議事(3)川越線のご利用状況の推移と羽田空港アクセス線（仮称）の状況について、J R東日本から、資料3により説明があった。
- ・ さいたま市から、東山手ルートは、宇都宮線・高崎線方面から羽田空港へのアクセス強化につながるもので、引き続き早期完成に向けて取り組んでいただきたい。また、川越線の輸送人員を増やしていくためには、沿線のまちづくりを進めて、定住人口や交流人口を増やしていくことが重要であると認識している。沿線のまちづくりを進めるにあたり、J R東日本には今後も御理解、御協力をお願いしたいとの発言があった。
- ・ 川越市から、川越線の利用状況についての説明の中で、川越駅、南古谷駅はコロナ前の利用人員まで回復していないことを改めて認識した。一方で、西大宮駅は利用人員が増加していることから、さいたま市による駅周辺のまちづくりの成果があらわれている。川越市としても、コロナ後のインバウンド需要の取り込みや南古谷駅北口改札をはじめとした基盤整備を行い、川越線の利用状況の回復に繋がるよう取り組んでいきたいとの発言があった。
- ・ 川越市から、2022年度までの利用人員における訪日観光客の利用状況について質問があった。J R東日本大宮支社から、個別駅の訪日観光客数を示すことは難しいので、J R東日本としてのインバウンド関係の鉄道収入の実績額と見込み額

について、2022年度決算では100億円の収入があり、2023年度は倍の200億円にすべく努力しているところであるが、コロナ禍以前は260億円ほどの収入があったとの回答があった。

- ・議長より、本日の会議の確認事項として、さいたま市、川越市から現在のまちづくりをはじめとした利用者増への取組を説明いただき、JR東日本からは川越線の現在の利用状況や、将来、川越線の利用者増につながる、大変期待の高い羽田空港アクセス線についての説明をいただいた。合わせて、県で実施しているインバウンド施策「Just North of Tokyo」を紹介し、観光面でも連携できるよう協力したい。引き続き取組を共有し、県と市、官と民、それぞれの立場で連携・協力して相乗効果を図っていきたいと考えている。との発言があり、了承された。

以上